



# 週)報

2014~2015年度)) R I 会長)ゲイリー C . K . ホアン)  
R I のテーマ) 『ロータリーに輝きを』)  
地区のテーマ))) 「行動) ACTION」) ガバナー)坂本元彦)

国際ロータリー  
第 2 5 7 0 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14) TEL)04-2954-2511  
〔事務所〕〒350-1305) 狭山市入間川 1 -24-48) TEL)04-2952-2277) FAX)04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長)稲見) 淳) 会長エレクト)江原伸夫)副会長)坂本松男) 幹事)江原伸夫)

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 1033 回(3 月 24 日)例会の記録

点 鐘 稲見 淳会長  
合 唱 手に手つないで  
第 2 副 S A A 野口君、沼崎君  
卓話講師 (株)活性化セミナー研究所  
渡辺高德様

#### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
40名	29名	69.45%	84.62%

#### 会長の時間

稲見会長

春のような感じになりました。今週はプロ野球も開幕という事で、今高校野球もやっておりますが、色々活動的なシーズンとなって参りました。

3月には本当に行事が多く、皆さんには色々ご協力頂きましてありがとうございました。

3月9日~10日の親睦旅行、これも本当に綿密に計画を立てて頂いて、充実した楽しい旅行になったと思えました。私も宝塚を見ながら、大体半分以上は寝ておりましたが、時々隣で家内が手を叩いていたその音で目を覚ましておりました。しかし家内が楽しそうにしておりましたので、これで成功かと思えました。大勢の参加、ありがとうございました。

そして3月14日のIM、これは私ども沼崎ガバナー補佐が主催した訳ですが、10時半頃から18時まで、本当に皆さんのご協力があって、私の知り合いの入間ロータリーの加藤会長から「良いIMだったよ」という評価を頂きましたので、下準備から始まり、立派なIMが出来たと思えます。感謝しております。

そして3月17日には私と江原幹事、財団委員長の柴田パスト会長の3人で県立狭山工業高等学校に行きまわりましたが、校長から皆さん宛に感謝状を頂きました。これは財団の補助を受けて行う事業として、狭山市内の県立4校にクラブの備

品を贈呈するということで、今年は3校に20万円程度のもの、例えば狭山工業ですとミラーと線引き、無線機のような物を4台お贈り致しました。こちらは、校長、教頭以下出席されて非常に感謝されました。後ほど柴田財団委員長から詳しくご説明があると思います。

そして今日は講師として渡辺高德君、彼は私の同級生でして、私とは違い非常に優秀です。私は少し劣等生で育ったものですから少し毛並が違いますが、本当に成績優秀で、我々学校の中でも数える程の優秀な人材でしたので、本日お呼び致しました。是非お話を楽しみにして頂けたらと思っております。

#### 幹事報告

江原幹事

- 2017~2018年度ガバナー指名のための指名委員会設置についてのご案内 3月20日に設置。  
委員 石川嘉彦、真下和男、加藤玄静、立原雅夫、鈴木秀憲 以上5名のパストガバナー
- 国際大会委任状提出のお願い
- 2015年度地区協議会開催のご案内  
4月19日(日) 会場 東洋大学川越キャンパス
- 入間航空自衛隊より観桜会へのご案内
- 平成26年度青少年を育てる狭山市民会議第6回理事会報告
- 例会変更 狭山RC 所沢RC
- 受贈会報 飯能RC 入間南RC
- 回覧物 尚寿会広報紙(第96号)

#### 会長エレクト

2015~2016年度役員・理事が別紙の通り決定しました、一覧表をお配り致しましたが何卒皆様のご協力をよろしくお願い致します。



## )会員3分間スピーチ))

佐々木 康会員

突然ですが、皆さん遺言書を作成していますでしょうか？

最近、遺言書の書き方などの本などが多く出版されていますが、実際は遺言書を残す人はまだまだ少数です。

司法書士という仕事柄、相続・遺言についての相談が多くある中で、「遺言書を残しておいてくれればよかったのに」というケースに出くわすことが多くあります。そこで今日は、司法書士から見た「遺言書を書いておいた方がいい人」について、少しお話させていただきます。

一番多いケースは、子供のいない夫婦の場合です。夫は自分の財産を奥さんにすべて残したいと思っていたとしても、夫の両親または、夫の両親がすでに亡くなっている場合は、夫の兄弟との遺産分割協議をしなければ、妻は夫の財産を引き継ぐことが出来ません。普段から付き合いがある関係ならばいいのですが、そうでない場合は印鑑証明書を取ってもらったり等お願いしにくい場合もあります。また、もともと夫の親から引き継いだ不動産がある場合などは、先祖代々の土地として、夫方の親せきからいろいろ言われることもあります。その場合でも、遺言書があれば、夫の兄弟たちと協議することなく、夫の財産を相続することができます。

二番目の場合としては、生涯独身または、結婚歴があるけども妻も子供もない場合です。この場合は、両親がすでに亡くなっている場合は、兄弟が相続人になります。一番目のケースと違い、兄弟間の話し合いなので、遺産分割協議もしやすいと思いますが、このケースは意外と話がこじれる場合が多いです。最後を看取ってくれるような兄弟や甥、姪などに財産を相続させる遺言書を書いておいたらいいかなと思います。

三番目の場合として、法律上の行為無能力者が相続人の中にいる場合です。認知症の方や精神障害者の方がこれにあたります。この方たちは法律行為をすることが出来ないのので、遺産分割協議をすることもできません。そこでこれらの方と遺産分割協議をするためには、成年後見人を選任しなければなりません。この場合も、遺言書を残しておけばいいのですが、このケースでは、遺言書の書き方には注意をしておいた方がいいケースでもあります。

その他にも、相続人どうして「もめそうだなあ」と思うところがある場合は、遺言書を残しておけば無用な争いを防ぐことが出来るかもしれません。



## 委員会報告

R情報・雑誌)))))若松委員長)

今日が終るとRの友もあと3回ということで、先ほど浜野さんとも相談したのですが、4~6月は一人ずつ行おうと片山さんにもお願いし、さびしくなりました。

皆さんほとんど読んでないと思いますので、是非読んで欲しいのですが、せめてお話したところだけでも読んで頂きたいと思います。

【横書】

26頁もうこのような時期になったのだということが実感できるのですが、次年度のロータリー会長 K.R."ラビ"ラビンドランという方が「ラビちゃん」と呼んで下さいと書いてあります。スリランカ初の会長ということですが、皆さんスリランカがどこにあるかご存知ですか？スリランカとはインドの尖った所の下にある、昔で言うセイロン島です。読むと人柄がでております。

p.30を見て頂きたいのですが、真ん中あたりに「長身で身なりが良いことによって思いがけない恩恵を受けたことがありますか。」という質問に、「メリットは大してわからないけれども飛行機の座席に収まるのに苦労します。」といった、思わず笑ってしまうようなことが書いてありました。

【縦書】

4頁にある「和魂和才」は、寺澤捷年さんという方が漢方について色々書かれています。ここはいつも面白く、いつも私はここだけは読むのですが、「自然の中でわれわれは生かされている」ということで、なかなか興味深い記事が載っています。是非皆さん読んでみて下さい。

13頁「友愛の広場」にある、「ロータリアン・フェイス」という浦上さんの記事も非常に面白かったです。是非読んでみて下さい。

18頁「卓話の泉」に「サプリメントについて」というものがございます。こちらも良いことが書いてありましたので、是非読んでみて下さい。そして次には「星を見つめて」という佐藤さんという方の記事が載っておりますが、狭山ロータリークラブに卓話にいらした時の話です。このような良い話を読んで頂ければ、是非聞きに行きたかったと思いますが、非常に面白かったので読んでみて下さい。

R財団)))))柴田委員長)

先ほど会長がおっしゃっておりました、青少年支援プロジェクトの第1回目、3月17日に会長と幹事と私とで、狭山工業高等学校に贈呈を行ってまいりました。大変喜んで頂いて、嬉しく思っております。

今日がたまたま、次の緑陽高校に贈呈に行く日となっております。そして青陵高校に対しては5月中頃になるのかと思っておりますが、この3校に対しては、今年度稲見年度で着実に履行して、

来年度 1 校、経済高校でございますが、それに向けてやっていきたいという流れでございます。年度が変わっても私は 3 年行わなければならない立場にありますので、引続き関与させて頂ければと思っております。

またこの R 財団というものに、私は数年前から違和感がございます。補助金を上手く活用し、青少年の野球に対してフォローしようとしたことが上手くいかなかった経緯がございます。そうした経験のもと、私なりに財団のお金が寄付した 3 年後に半分返ってくるという制度があることを数年前に知りました。なにはともあれ、皆さんで寄付したお金をもっと有効利用しなければならないという思いから、一つはモンゴルに 100 万円強の補助金を用意することができました。

今回が 20 万円、そして来年度は地区の補助金が 10 万円と、3 月 7 日のセミナーで言われております。これもなんとか、何かのプロジェクトを用意し、着実に、いわゆる私どもの寄付したお金が無駄なく返ってくるようにしていきたいと思う一人でございます。

以上報告させて頂きたいと思っております。

### 第 3 グループ 沼崎正徳ガバナー補佐

今日は 3 月 14 日に行われました IM のお礼を申し上げます。時間をとらせて頂きました。

先日 14 日の IM では、私たちのクラブがホストクラブとして本当に一生懸命色々なことをやって頂きました。おかげ様で大変評判が良いです。会場の設え、石毛選手のスピーチ、栗原さんの演奏、懇親会に至るまで、本当に一生懸命やって頂いた甲斐があると言うものです。おもてなしの心というものが色々な形で伝わったということで、私の所にもガバナーは勿論のこと、色々なクラブの会長さんから、「よくやったね」「よく一番安いお金で、あれだけ素晴らしいことができたね」といったお礼を頂いております。

是非このような意味で、胸を張って「やれば出来る」ということを味わって下さい。本当にありがとうございました。

### 栗原成実 IM 実行委員長

先日の 3 月 14 日はかなり緊張していたのが自分でも良く分かったのですが、とにかくクラブを挙げて、沼崎さんを男にしたのかなと思っております。皆協力すれば安いお金でもできるということが分かりました。これは私がたまたま実行委員長ということでございますが、クラブ委員一人一人が協力して頂いた賜と深く感謝を申し上げます。なお、会費が 3000 円と 5 グループの中で一番安い料金で IM を実行した訳なのですが、更にも増して一人当たり 200 円余剰金ことができました。これ

はガバナー補佐と会計の坂本さんとも相談を致しまして、各クラブに返還しようかと考えております。報告方々御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

## 「外来卓話」・・・・・・・・・・ (株)活性化セミナー研究所

渡辺高德様



...紹介...

稲見会長

小学校、中学校が私と同級生でした。彼は優秀で私立の高校に行きまして、その後一橋大学を卒業し、銀行にお勤めになりました。奥様の実家が狭山の中央 2 丁目にございまして、そこには現在娘さんが住んでいるそうです。ですから、かなり近いというイメージがございます。あとはお話を聞いて頂ければわかると思います。宜しくお願い致します。

先ほど私の名前を何度か呼ばれる度に、プレッシャーがどんどん出てきております。稲見会長とは小学校、中学校と一緒に、同じクラスは中学 1 年生の時だけだったと思うのですが、その縁でお声がかかりましたので、お話をさせていただきます。銀行を 3 年前に退職致しまして、先ほど数人の方と株式会社活性化セミナー研究所講師という名刺交換をさせて頂きましたが、実は私はサラリーマンでもなんでもなく、その会社は便宜的にあるだけで、私は個人事業主となります。私がいつも行っているのは、中高年の主に大企業のサラリーマンですが、定年を控えたサラリーマンに対して、これからどんな形で定年を迎え、定年後の生活はこうだと言ったような話を、全国各地でさせて頂いております。

今日の皆さんはサラリーマンというよりも、事業主、会社経営の方ですので、私が今からお話する内容はピントが少しずれているかも知れませんが、イメージと致しましては、会社経営の方でしたら

従業員の方がいらっしゃると思いますので、そういった人たちの立場に立って聞いて頂ければむしろピンとくるかと思います。

テーマは「生きがいとライフプラン」ということとなりますが、ライフプランという言葉は良く聞かれるのではないかと思います。

まず、「ライフプラン」とは何か？というお話をしたいと思うのですが、私が普段話しているのは50代が中心で、彼らは将来についての不安、心配事をたくさん抱えていらっしゃると思います。普通サラリーマンですと定年と言いましても最近では60歳以降も仕事を致します。定年を控えて、定年後どんな仕事をするのだろうか、或いはその後年金生活に入ったならば、年金で暮らしていけるのだろうか、また年をとると健康の心配や自分の両親の介護の問題等、心配事がたくさんございます。

しかし心配ばかりしていても仕方がないので、ではどうするかということなのです。

不安や心配は、将来が見えないから起こります。将来は誰にもわからず、先のことが見えないから心配や不安がでるのです。それならば先の見通しを立てようではないかということで、そしてどうせ立てるのであれば、暗い見通しよりも、将来のことは誰にもわからないので、明るい見通しを立ててしまおうということなのです。明るい見通しとは何かと言いますと、別の言葉でいうと、夢や希望、目標です。皆さん方の年代になると、もう夢や希望等とは、しばらく聞いたことも言ったこともないと思いますが、如何でしょうか？世の中中高年のサラリーマンは夢や希望が無くなってしまっている人が多いので、皆様方は大変幸せだと思います。

夢や希望を、私は「ありたい姿」と表現しております。「ありたい姿」とは5年後、10年後、自分がこんな風な生活をしていきたいとイメージすることです。今さっき健康のお話を致しましたが、100歳過ぎまで寝たきりにならずに健康でいたい等、ありたい姿をまずイメージ致します。イメージをすると、それを実現するために何をしなければいけないのかという課題や対策がでてきます。100歳まで寝たきりにならずに、元気で頑張るということをありたい姿とイメージしたならば、365日飲んだくれていた稲見君のような生活をしていたらまずいわけです。従って、例えば週1回は休肝日を取ろう等という対策が出てきます。

「ありたい姿」プラス【課題】や【対策】、これを考えることを、「ライフプラン」と私は読んでおります。「ライフプラン」とは、5年や10年後、または老後、定年後に自分の生活がこのようななっていたら良いなというイメージ、夢や希望や目標を持って、それを実現する為に今日から、或いは明日から、こうしよう、ああしようということを考えることです。とは言いましても、どのように「ライフプラン」を立てたら良いのかと申しますと、今から「ライフプラン」を立てるにあたって

の切り口や考え方を少しだけお話致します。

冒頭にお話致しました通り、皆色々な不安や心配事を無くして元気に生きるため、5年後、10年後ために「ライフプラン」を立てるのではなく、今を元気にする為に「ライフプラン」を立てるのだという事を、少し押さえて頂きたいと思います。「ライフプラン」の切り口を考えるには、色々な心配事の整理をすると良いと思います。5年後、10年後、老後の心配事とはなんだろうかと聞きますと、通常最初に出てくるのは健康です。要は寝たきりになったりせず、元気にいけるだろうかという健康の心配です。そして2番目はお金です。全国津々浦々色々なところでお話を致しますが、まず共通しております。そして3番目は不安、それこそ皆人生違いますので色々な心配事があると思います。

まず心配事の整理をしてみたいと思います。仕事についての心配、一般的にサラリーマンは60歳定年の後、まだ子供が多かったり、学生だったりしてお金がかかる場合は仕事をどうしようか等、仕事の心配が非常に大きいのです。そうした意味で、心配事の代表は仕事です。私がサラリーマンの皆さんにお話しているのは、仕事というのは狭い意味ではお金を稼ぐということですが、言ってみればサラリーマンの場合、いずれお金を稼ぐ仕事というのは定年等で普通は終わります。しかしその後も仕事をしたい場合どのように考えるかということですが、60歳までが仕事の第一ステージとして、60歳以降というのは第2ステージです。これは一般的には自分のやりたい仕事にチャレンジするのに格好の時期だと言われております。

私は60歳まで銀行員をしておりましたが、銀行もなかなか良い仕事をしたと思っておりますが、自分の天職だと思っていただけではなく、生活のためにしておりました。しかし60歳を過ぎたら自分のやりたいことをやろうと、今このようなことをやっております。歳をとってからずっと仕事をするという場合は、やはり若いときとは違って自分のやりたいことにチャレンジをするということ、皆さんにはお勧めしております。

「人生の楽園」というテレビ朝日の番組はご存知でしょうか？時々私も見るのですが、以前、熊本県で信用金庫に勤めていた50歳の男性が、50歳を機に信用金庫を辞め、ちんちん電車の運転手に転職したという話が放送されました。信用金庫ですから安定もしていて、給料もそこそこあったようです。電車の運転手になると給料も下がり、50歳で辞めて勉強をし、資格を取るという大変なチャレンジだったそうですが、しかし彼は子供の頃から電車が大好きで、その夢を実現させました。60歳まで待っていたら電車の運転手にはなれないので、チャレンジをしたという話でした。人生は長いのですから、一般サラリーマンの60歳過ぎでもチャレンジが出来たら良いと思います。

次に趣味です。皆様方はたくさん趣味をお持ち

で楽しんでいらっしゃるという雰囲気がありありしていますので関係ないかもしれませんが、世の中のサラリーマンには、自分は無趣味だから定年後や老後、時間を持って余ってしまうだろうという人がたくさんおります。朝から晩まで仕事ばかりしていて、ほとんど時間もありませんから、大した趣味もない、そのため老後の自由な時間に何をしたらよいかわからないという心配事です。私がいつもお話しているのは、好きなことを楽しんでやれば何でも趣味になるということです。

稲見会長も、実は私もですがお酒が大好きです。ただ 365 日毎晩飲んでもひっくり返っているのは酔っ払いと言いますが、今日は新潟の酒、明日は金沢のお酒等としていますと、あいつは粋な地酒が趣味だと、このような話になります。飲んでもひっくり返るといふ結果は一緒ですが、趣味とは好きなら良いのです。そのように考えると、心配するサラリーマンはたくさんおりますが、あまり心配することはないと思います。しかし自由な時間はこれからたくさんできるので、なるべくたくさん趣味を持っている方が良いことは良いと思います。

次に家族、家庭です。家族は心配です。家族の心配で代表的なものは、中高年ですとご両親の介護の問題、恐らく共通して心配だと思います。そして意外にも夫婦関係の心配をされる方が多いです。何故かと言いますと、サラリーマンとは例えば男性は朝から晩までずっと仕事をして夜中に帰るといった感じで、ほとんどの時間家におりません。それがいずれ定年で家にいるようになり、もう子供も外に出ているとすると夫婦 2 人で一日中顔を突き合わせているということがとても辛いということなのです。皆様方は事業主や会社経営だと思いますので、少し違うと思います。私などは非常に実感をしておりまして、なかなか辛いものです。そのような夫婦の心配をされている方も、結構いらっしゃいます。これに対しては、何かイベントを考えて会話のネタを作ろうといった美しい話をするのですが、カーネギーという方が書いた「人を動かす」というサラリーマン向けの有名な本の後ろの方に、家族、とくに夫婦を上手くまわす方法ということが少し書いてあります。それは一言で言いますと、粗探しをしないということで、粗探しをしないで長所を見つけ、長所をつけて褒める、これが大切だと書いてありました。粗などは探せばいくらでも出てきますので、粗探しなどせず、なるべく良い所だけを見て褒めるということだそうです。是非実践してみてください。

次は地域活動です。ロータリーとは代表的な地域活動ですので、皆様方は全く心配がいりません。世の中のサラリーマンは朝から晩まで会社にいておりますので、一番身近な所では近所付き合いが苦手で、全く知りません。実は私もそうで、仕事関係のお友達はたくさんおりますが、地域にはほとんど友達がおりません。仕事を辞めた後、仕

事関係の友人はいても周りに友人がいないと孤独になってしまう、そのような心配をする人がたくさんいます。これについては、自分の好きなこと、例えば絵を描くことが好きであれば、地域には絵画クラブ等必ずありますので、そうしたものに積極的に入りましょうといったお話をいつもしています。

会社を辞めた後、基本的には地域に限らないのですが、仕事関係以外のお友達をたくさんもっていることが良いと思います。仕事関係の友達とは、仕事を辞めてしまえば、普通 3 年もするとほとんど年賀状だけのお付き合いになってしまいます。そのため、これだけ地域にネットワークを持っている皆様方は大変幸せだと思います。

仕事の心配、趣味の心配、家族の心配、地域活動・地域コミュニティの心配、これを反対側から読んでみますと、やりがいのある仕事に恵まれて、趣味がたくさんあり、それを楽しんで、家族円満で、地域とのコミュニティもたくさんあり、お友達もたくさんいる、このような生活を「生きがい」と言います。「生きがい」というものは、生活そのもので、仕事や趣味や家族や地域活動がとても充実していることです。今日の私のテーマ「生きがいとライフプラン」の「生きがい」とはこのようなものです。先ほどお話しした健康の心配、お金の心配、そしてもう一つは「生きがい」を感じながらこれから生活していけるだろうかという心配、健康、お金、生きがいとは老後の 3 大心配事というのです。

健康とお金というのは、「生きがい」そのものではありません。普通は「生きがい」を支える土台にあるものです。どんなに「生きがい」と言っても、健康を害して寝たきりになってしまえば、「生きがい」も何もなく、仕事も趣味も家族も地域も関係が無くなってしまいます。またお金もそうです。お金も日々の生活、食べることに汲々としているのであれば、生きがいを語る以前の問題になってしまいます。そのため健康とお金がベースにあるのです。

先ほど私、「ライフプラン」とは、ありがたい姿、夢や希望をイメージしてそれに対する対策を考えることだとお話致しました。そしてその切り口というのが、6 つあります。仕事をこんな風にした、こんな趣味を持ち楽しみたい、家族、夫婦はこのように円満でいられれば良い、地域に友達をたくさんつくりたい、そして健康でお金もそこそこ持っていたい、このようにありがたい姿をイメージしてそれに向かって歩いて行く、そうすると今が元気になるというお話でございます。

先ほど生活の充実感というお話を致しましたが、仕事や地域活動を中心としたものを「社会的な生活」と呼んでおります。そして余暇や家庭生活、これを「個人的な生活」と呼んでおります。社会的な生活のキーワードは何かと言いますと、誰かの役に立つということです。そしてここから得ら

れるものは、働きがいというものです。対して個人的な生活とは、敢えて言いますと幸せを感じる、楽しむといったことだと思いますが、これによって暮らしがいいというものを感じます。働きがいとは働きがいと暮らしがいい両方あって初めて生まれるものです。

なぜこのようなお話をするかと言いますと、皆様方は人によって違うかもしれませんが、個人で事業をしていらっしゃるったり、会社の経営をしていらっしゃると思います。すると自分のリタイアの時期は自分で決めることとなります。しかしサラリーマンには定年というものがありますから、いずれ仕事は終わってしまいます。60歳の人もいれば65歳、あるいは70歳位まで働く人もいますが、しかしいずれ終わってしまいます。働きがいと暮らしがいい、両方あって働きがいですから、定年して仕事を辞めると働きがいがゼロになってしまう人がいるのです。ゼロになってしまうと、個人的な楽しみだけになってしまい、やはり働きがいというのは誰かの役に立つという社会的な生活要素がないと空しくなってしまう、これは心理だと思います。従ってサラリーマンのみなさんに言っているのは、何か誰かの役に立つ活動を是非見つけて、いずれサラリーマン、お金をもらう仕事というものは終わりますので、ライフワーク、誰かの役に立つ活動ということですが、楽しくて誰かの役に立つ活動をずっと続けること、そうすると死ぬまで、社会的活動と個人的活動が両立して、とても生活が充実致します。

一般的なサラリーマンは色々な不安で一杯で、あまり色々なことを考える余裕もなくいるわけですが、とにかく今は一生懸命お金を稼ぐため、家族を養うために働いております。しかしいずれ辞めた後も、誰かの役に立つ活動、ライフワークを見つけて頂きたいと思います。そしてライフワークを探すにあたって、キーになるのはネットワークだと思います。このロータリーは、ネットワークの塊のようなものだと思います。

このようなお話をしてもほしい2~3日で内容を忘れてしまうので、それでは寂しいからキーワードだけでも覚えて、お土産に持って帰って下さいといつも話しております。

「ライフプラン」「ライフワーク」「ネットワーク」この3つのキーワード、これだけ思い出して頂ければ、私の名前や全体の流れは忘れて頂いても構わないと思っております。人生100年です。まだまだ人生半ばですので、是非ありたい姿、夢や希望を持って、元気に充実した毎日を送って頂きたいと思っております。



- 稲見君 私の同級生に渡辺高德君に卓話お願いしました。皆さん期待してください。
- 江原君 渡辺高德様本日はお忙しい中、ようこそおいで下さいました。卓話を楽しみにしておりました。何卒宜しくお願い致します、また佐々木会員3分間スピーチをよろしくお願い致します。
- 栗原(成)君 3月14日の第3グループのIMは大成功でした。会員の皆様の協力が心にしています。
- 沼崎君 3/14のIMではホストクラブとして、当クラブ皆様のご協力有難うございました。お蔭様で石毛選手の講演、栗原さんのヴァイオリン演奏、懇親会その他 みな評判も良く、私も他に鼻が高く、感謝しています。
- 坂本君 (株)活性化セミナー研究所渡辺高德様本日の卓話宜しくお願い致します。3分間スピーチの佐々木会員楽しみにしています。
- 柴田君 青少年支援プロジェクトの一番目「狭山工業高校」の贈呈が3/17日終了しました。ひきつづき緑陽高校、清陵高校へと続けていきます

2014~2015年度 ニコニコ累計額	2,323,000円
------------------------	------------

次の例会

第2副SAA 小幡君 佐々木君

4月14日(火) 12:30~13:30

外来卓話 木田健一様